

# 白ネギの夏越し作型における有望品種

農業研究部

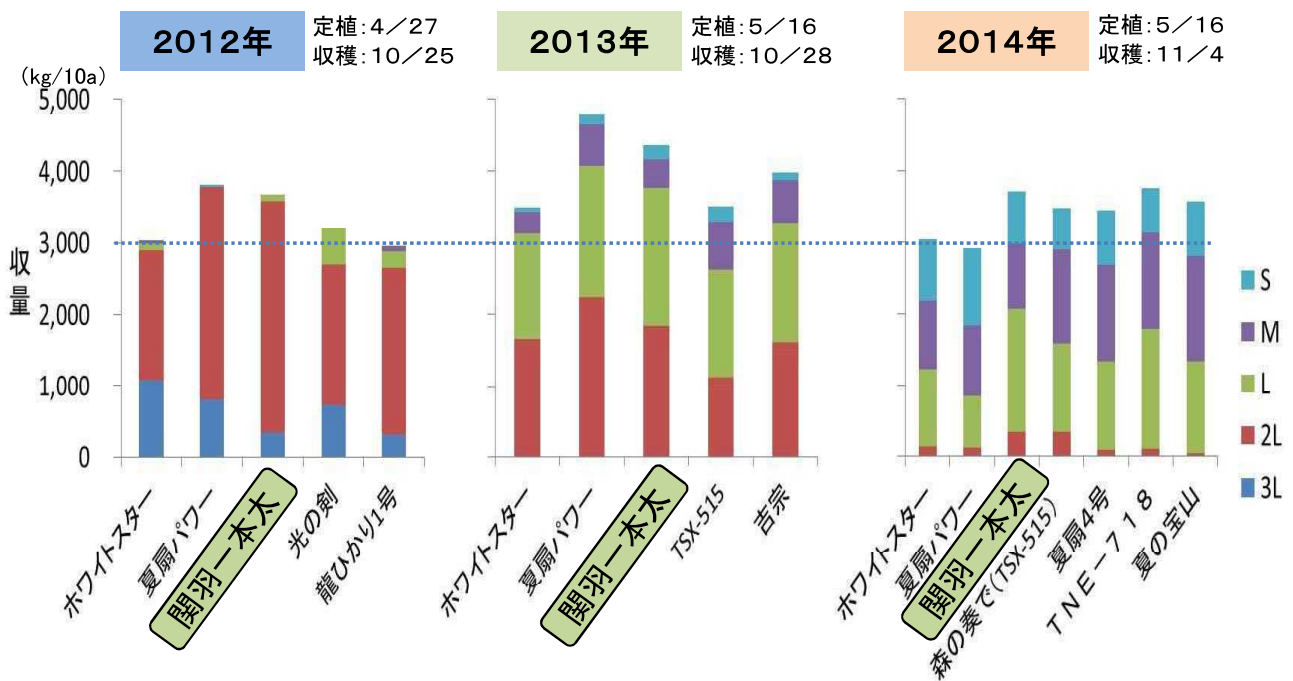
## 1. 研究の背景

白ネギの夏越し作型では、夏の高温による生育停滞等により単収の低下や収穫時期の遅延が発生し、周年安定出荷の上で課題となっている。このため、夏越し作型において安定的に収量を確保できる品種が望まれている。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

気温が平年並みで降水量が多い1年目(2012年)、気温が高く降水量が平年並みの2年目(2013年)、気温が低く降水量が多い3年目(2014年)と気象条件が異なる3年間で試験を行った。

その結果、供試品種のうち「関羽一本太」が各試験年度で収量上位となり、安定した収量性を示し、夏越し作型の品種として有望であった。



**「関羽一本太」(トーホク)は3年連続収量第2位で安定**

※いずれも豊後大野市三重町の場内露地ほ場(腐植質黒ボク土 標高151m)での試験結果

## 3. 期待される効果

- ・夏越し作型の安定化による周年安定出荷体制の強化、市場評価の向上
- ・高単価期である10～11月の単収向上による農家所得及び産出額の増加

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 ネギ・イモ類チーム

TEL: 0974-28-2080

住所: 豊後大野市三重町赤嶺2328-8